

消費者啓発講座 プランニングシート <トレッサ2回目、3回目> (案)

実施日	24年 1月 7日 (土) 14時00分～14時45分、15時00分～15時45分
会場	トレッサ横浜 リヨンの小径
講座対象者	小学生の親子
予定受講者数	各10組20名程度
講座名	ゲームで学ぼう！お金の使い方 ― チーム対抗すごろくバージョン ―
目的	(1) 物を選択し、お金と交換するという消費活動の基本的な形を学ぶ。(子) (2) 必要なものとほしいものを予算の範囲内で購入するという習慣を身につける。(子) (3) 消費活動にとって必要な事項を理解し身につける。(子) (4) すごろくを通して消費者教育の興味関心を高め、家庭での実践に活かす。(保護者)
留意点	・2回目(14時～)は事前登録必要。3回目(15時～)は当日受付。

当日のタイムスケジュール

時間配分	内容	留意点	用意するもの
準備	<ul style="list-style-type: none"> ・大判のすごろくをホワイトボードに、ワークシート等をあらかじめ机に配付しておく。 ・親子3組程度で3チームを作り、それぞれ一つの机に座ってもらう。 	(事務局) 事前にリストを作成しておく。 (事務局) 随時親子を案内する。	大判すごろく、ワークシート、筆記用具
導入 11:00～ 11:05	<ul style="list-style-type: none"> ・つかみ(お正月、何で遊んだ等) ・おつかいすごろくのルールの説明、 	(講師) ホワイトボードに貼り付けたすごろくを指しながら、説明。 (講師) 必ず買うものをフリップで個別に示し、ホワイトボードに貼り付ける。 (講師) 最後に、ルールを理解したかどうか子どもに手を挙げさせ、確認する。 (講師) 机ごとのチーム戦とし、机ごとの順番とチーム内でさいころをふる順番を決めさせる。また、ワークシートの記録係も決めておく。	ホワイトボード、すごろく(掲示用)、「おかず」「やさい」「おかし」のフリップ or パワポ資料
展開 11:05～ 11:25 11:25～ 11:30	<ul style="list-style-type: none"> ・すごろくの開始。 	(講師) 決めた順番に子どもを前に出させて、サイコロを振らせる。 (講師) 止まったマスの指示を読み上げさせ、回答させる。 (講師) 「一つ言う」ところでは、適宜チーム内の子ども、親にも振って、いろいろな回答を引き出させる。	大判すごろく、コマ(マグネット)、ジャンボサイコロ

	<p>・すごろく終了後、買った品物でどういおうお弁当にするか、シートに絵を描く。</p>	<p>(講師) 買い物の場面でも、チーム内の子どもにも振って、必要なものか、欲しいものかを考えさせる。</p> <p>(講師) チームの子ども同士相談させて書かせる。</p>	<p>色鉛筆 or ペン or クレヨン</p>
<p>まとめ 11:30～ 11:40</p>	<p>・どういおうお弁当にしたか発表してもらおう。</p> <p>・ほしいお菓子はきちんと買えたか聞く。</p>	<p>(講師) 一番早くゴールした子や最後にゴールした子などまんべんなく聞く。</p> <p>(講師) 一番早くゴールした子には早くゴールできたことを褒め、よく考えて買い物をした子にはよく考えたことを褒める。</p> <p>(講師) 欲しいものが買えたかどうかを尋ねながら、必ずしも欲しいもの全てが買える訳ではないことを伝える。</p> <p>(講師) 上手に買い物するコツを伝える。(あらかじめお菓子分のお金は分けておくとか)</p> <p>(講師) 保護者に対するアドバイスも盛り込む。</p>	<p>パワポ資料、PC、プロジェクター又は薄型TV</p>
<p>11:40～ 11:45</p>	<p>・アンケート</p>	<p>(事務局) 回収して、退場させる。</p>	<p>アンケート、筆記用具、回収箱</p>

振り返りシート

目的は達成されたか

時間配分は適切だったか

良かった点

反省点

その他